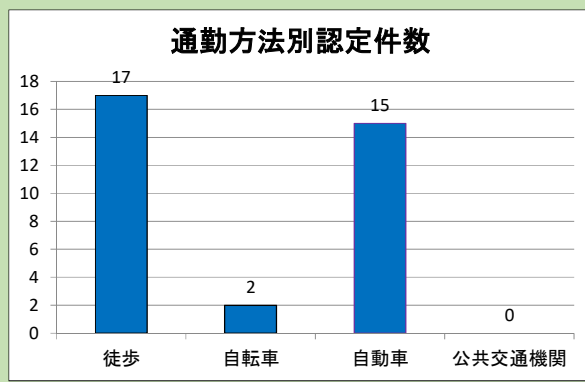
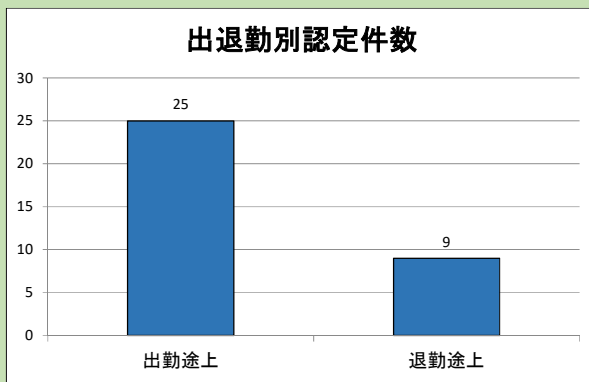
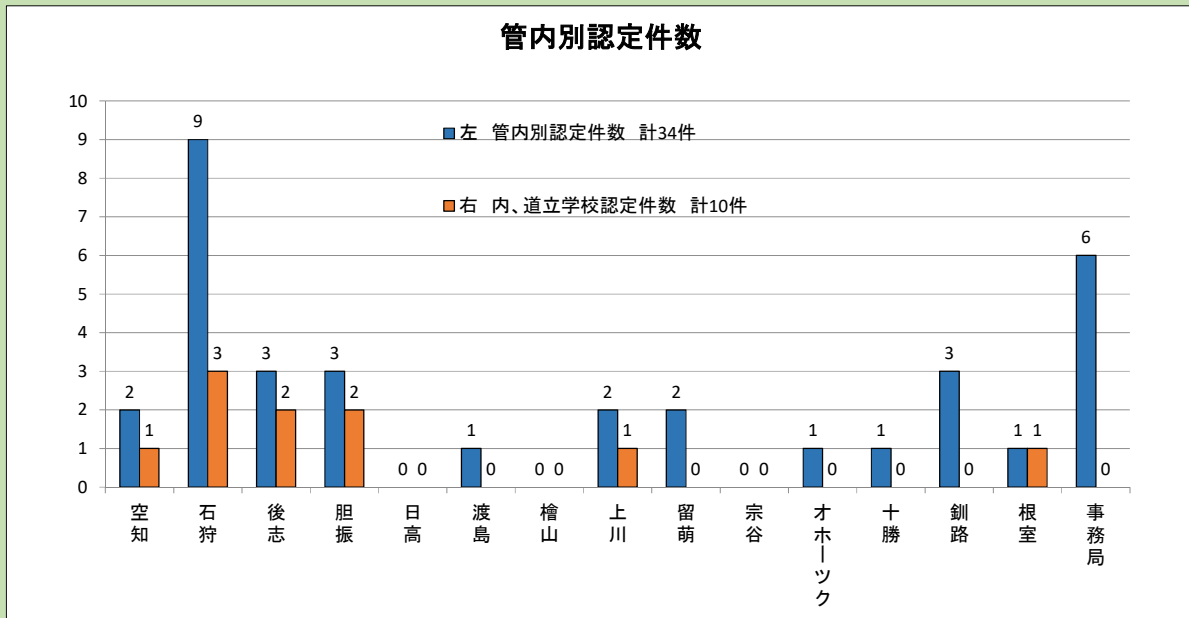
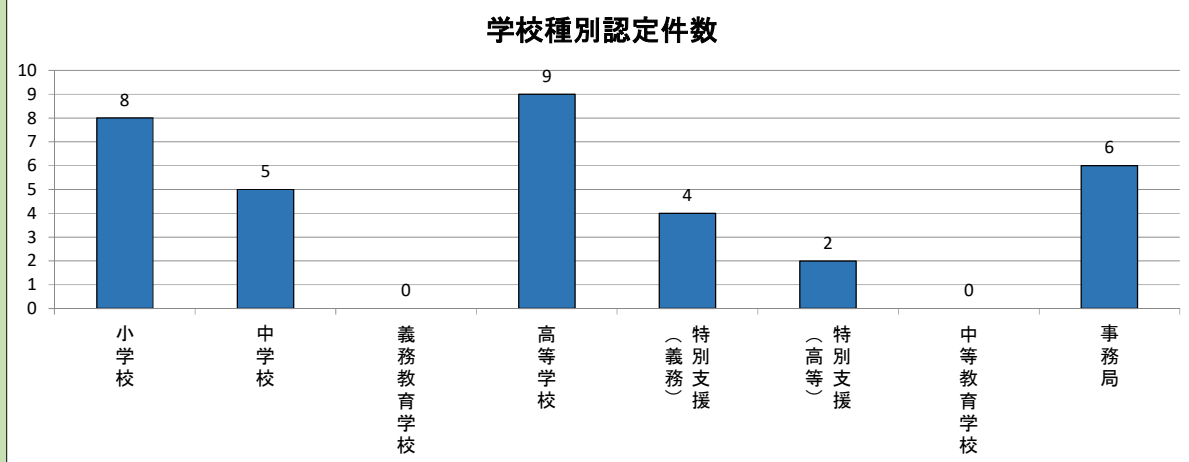
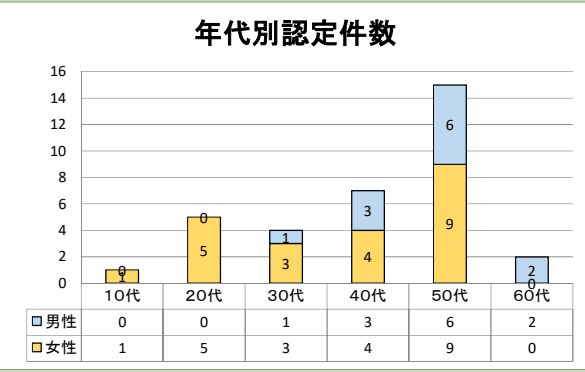
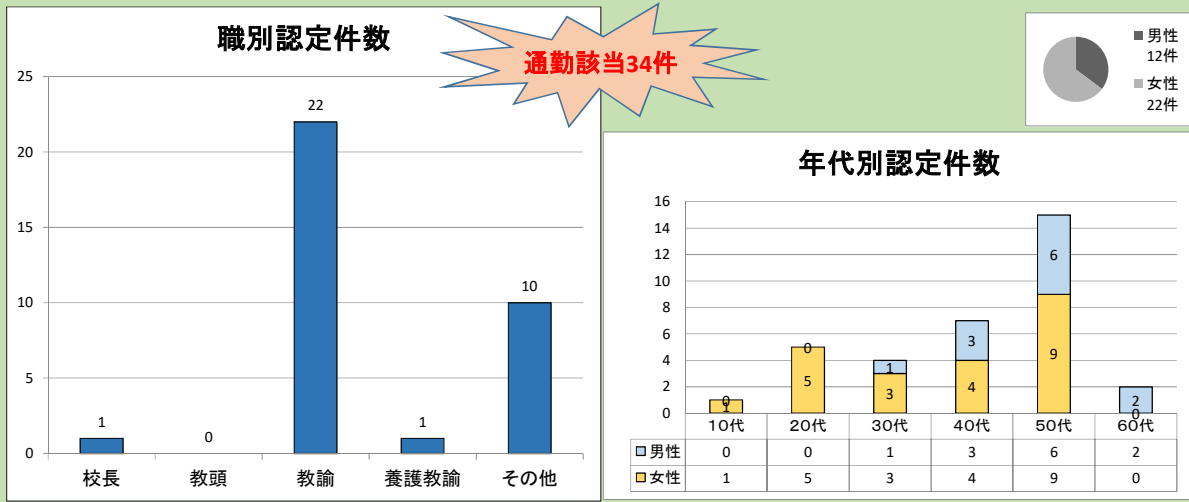


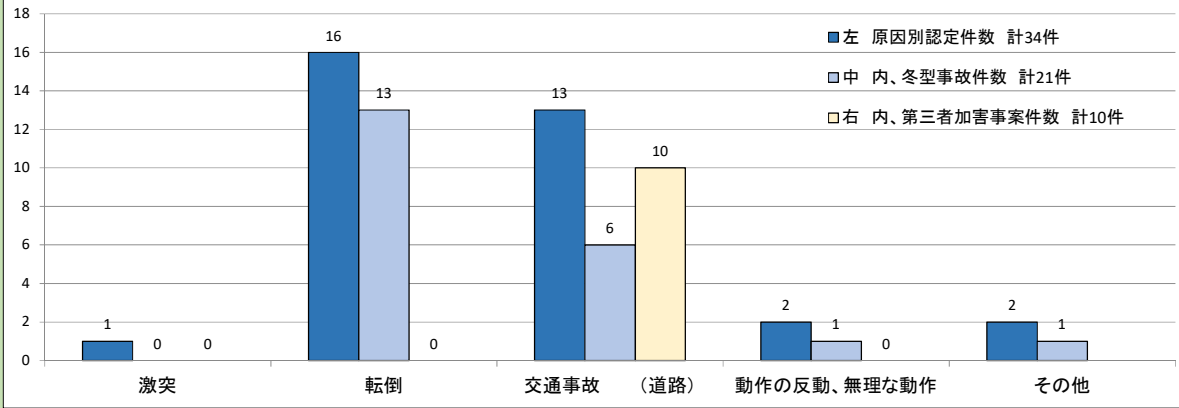
令和4年度通勤災害の状況

資料

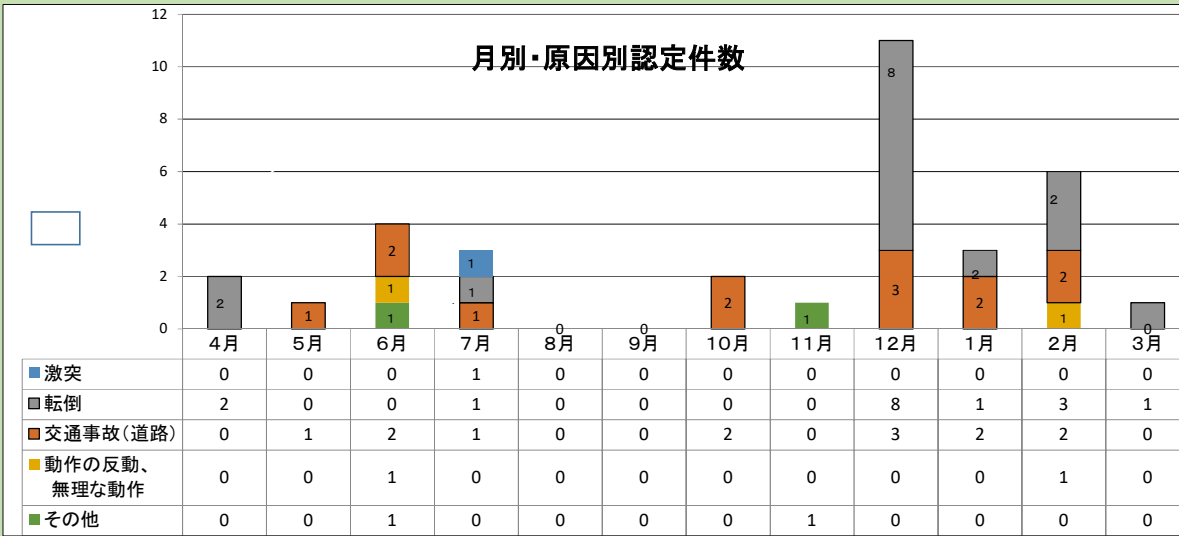
※再発・追加を含む。



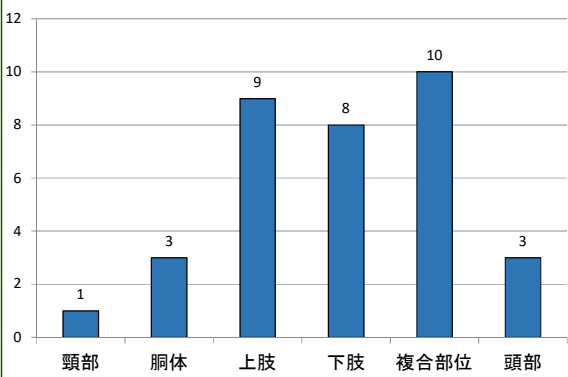
原因別認定件数



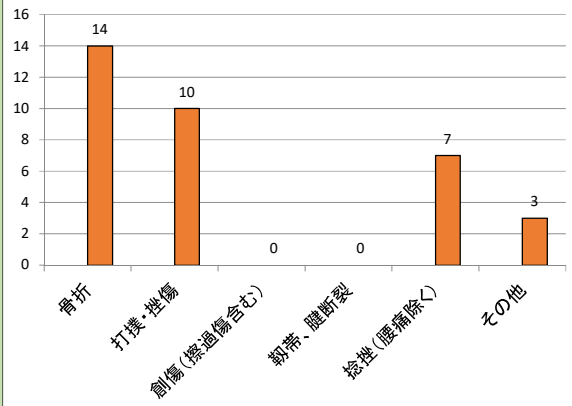
月別・原因別認定件数



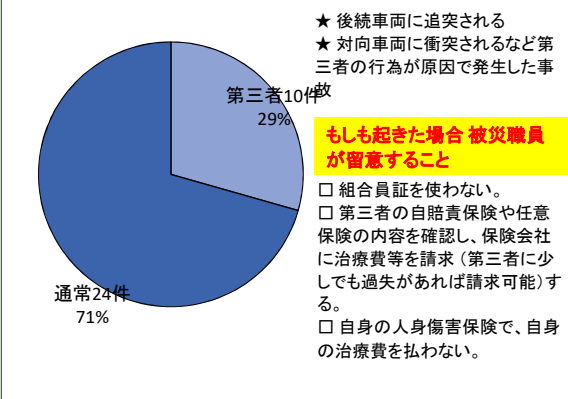
傷病部位別認定件数



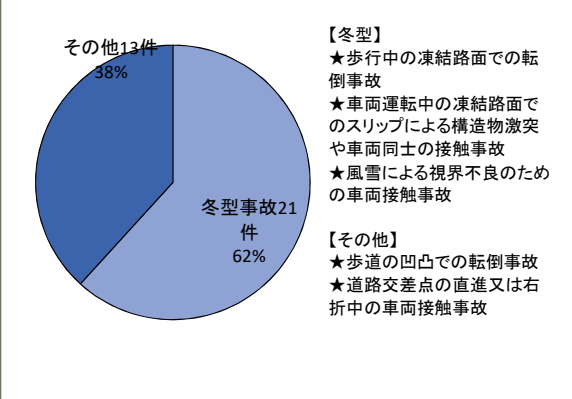
主たる傷病別認定件数



第三者加害事案件数割合



冬型事故件数割合



主な発生原因分析

- 被災職員の6割以上が女性である。(男性 12人、女性 22人)
- 年代別では男女ともに50代が多い。
- 全体件数は前年より減少しているが、冬型の事故件数は前年よりやや増加している。
(R3 全体:36件 R4 全体:34件)
(R3 冬型:20件 R4 冬型:21件)
- 車両との接触等による第三者加害は前年より3件減少している。
(R3 13件 R4 10件)
- 出勤別では、出勤時の被災が圧倒的に多く、約7割を占める。

未然防止

- 日頃から、時間にゆとりを持った行動を心がける。
- 道路交通法を遵守する。
- 自転車走行の際は、道路標識、道路標示に留意する。
- 自転車走行に支障がないかハンドル、ブレーキ等を確認する。
- 日頃から、睡眠不足にならないよう、健康管理に留意する。
- 冬道歩行の際、両手で荷物を持たないようにし、両手がふさがらないように心がける。など・・・

リーフレット「公務(通勤)災害を未然に防止するために」参照

【令和4年度の認定事例】

転倒 (通常)	出勤のため自転車で走行中、歩道上の段差にハンドルを取られバランスを崩し転倒し、その際顔面を路面に強打し負傷した。(60代 男性)
転倒 (冬型)	徒歩で通勤中、右足を雪にとられバランスを崩し、反射的に左足で踏みとどまったため、転倒は免れたものの、負荷が左足の付け根に集中し負傷した。(40代 女性)
	徒歩で通勤中、凍結した歩道で滑って転倒し、地面に頭を強く打ちつけ、負傷した。(50代 女性)
交通事故 (通常)	自家用車で出勤途上、交差点に差し掛かったとき、右側からトラックが進入したため、避けようとブレーキを踏みハンドルを切ったが間に合わず衝突し、頸部、右前腕及び胸部を負傷した。(40代 女性)
	出勤のため、自家用車で走行中、冷暖房のタッチパネルを使用したところ運転操作を誤り、ガードレールに衝突し、車体右前部を大破して停止したため、エアバックは作動したものの、頭部及び腰部をシートに打ち付け、負傷した。(20代 女性)
交通事故 (冬型)	自家用車で通勤中、両側の積もった雪や氷の塊で道幅が狭くなっていたのに気をとられていたところ、赤信号を見落として交差点に進入し、左方から来た車両と衝突し、負傷した。(30代 女性)
	自家用車で通勤中、学校入口に右折して入るため、一時停止して、対向車が通り過ぎるのを待っていたところ、路面凍結によりブレーキが効かなくなった後続車両が、追突し、負傷した。(40代 女性)

※ いずれの事故も、中断・逸脱のない合理的な経路で発生した。